

検査部だより

2021/12/1

新しい医療機器「ホルター心電図」がはいりました

- ☆従来より軽くなりました
- ☆シャワー・入浴が可能になりました

ホルター心電図とは、胸に電極をつけ携帯型の小型心電計を24時間身につけて、日常生活中心電図を記録し解析する検査です。

通常の横になって測定する心電図検査は数十秒と短時間ですが、不整脈は出たり出なかったりするため、実生活の中で長時間の心電図を記録し続けるこの検査が欠かせません。

ホルター心電図では長時間心電図を記録することにより、不整脈や心電図異常などの変化がいつ、どれだけ、どれぐらいの時間起こっているか等を把握し、不整脈の種類やその重症度などを調べます。

検査中に動悸や胸痛などの自覚症状が出た場合は、「行動記録カード」に記入していただき、それを記録した波形と比較することで、症状と不整脈や虚血性心疾患（狭心症）の関連を調べることもできます。



（注意事項）

襟元が広く開いた服装の場合、電極が見えることがあります。
機器装着のため、体をしめつける下着は着用しないでください。
上下に分かれた服装、できれば上着は前あきの服でお越しく下さい。
入浴したり、シャワーを浴びたりすることができますが、
以下の点に注意してください。

- ・浴槽につかる際は湯温 40℃以下、10 分以内
- ・サウナ、ジェットバス、入浴剤、海水、泥水、温泉での使用は行わない。
- ・電極部は手やタオルでこすらない。

その他の注意点については、装着時にご説明します。

【ホルター心電図検査の流れ】



装着



24時間普段通り生活



解析結果